

木更津工業高等専門学校

Kisarazu National College of Technology



本校の紹介

昭和42年に千葉県木更津市に設置され、5年制の本科(準学士課程5学科、学生定員1000名)と2年制の専攻科(3専攻、学生定員40名)からなり、現在は約1100名が在学しています。敷地面積は約10万m²で、豊富な実験室・研究設備のほか、実習工場や遠距離通学する学生のための学寮もあります。120名の教職員(教員76名、事務系職員44名)が学生指導と学校運営に携わっています。地元企業の技術相談等に対応するための地域共同テクノセンターや、一般市民に開放されている図書館も併設しています。

また、本科卒業生等を対象とした高度な教育を行うことを目的として、平成13年に専攻科が設置され、所定の単位を修得し、大学評価・学位授与機構による試験に合格すると、大学の学部卒業者と同様に学士(工学)の学位を取得できます。

学生は、勉学に励みながら、球技大会・体育祭・駅伝大会などの各種行事やスポーツや文化の課外活動に取り組んでいます。本科卒業生の進路は、約6割が専攻科や大学工学部等への進学、約4割が就職等で、専攻科修了生の進路は、大学院への進学あるいは就職がほとんどです。

周辺地域との連携

千葉県木更津市は京葉工業地域に位置する人口約13万のベッドタウンです。特に、東京湾アクアライン開通後は東京方面、横浜・川崎方面、羽田空港へのアクセスが便利になったことと、気候が温暖で自然環境に恵まれているせいか人口は増加しています。また、近隣には化学工業、製鉄業などの大企業の工場や研究所もあります。本校では、これらの地元や周辺企業への技術協力に加え、小中学校を対象とした理科出前授業や公開講座などを通じて地域連携活動にも力を入れています。

国際交流活動

これまで外国人留学生として外国の高校を卒業した者を本科3年次に受け入れてきており、現在、在学中の約15名のほとんどがアジア出身です。

平成18年に台湾国立聯合大学と学術交流協定を締結し、相互の学生派遣などを可能にしました。近年は、語学研修や工学研修で毎年10名程度の学生派遣・受け入れを行っています。平成23年・24年には、学生が研究発表できる場として国際シンポジウムを開催しました。

平成20年にはドイツ文化センターと協定を締結し、以後、ドイツ政府の認定校として、毎年ドイツへの学生派遣などを進めており、外国派遣の機会が多数提供されています。

さらに、国立高専機構は専攻科生を対象とした海外インターンシップを毎年主催しており、これに参加する学生もいます。主な派遣先はアジアです。

本科の紹介

●機械工学科●

最近の情報化に伴う技術革新により、機械工学は従来の工場生産活動のための基礎的な分野に留まらず、情報・制御・電子等の分野にまでその応用分野は広がっています。

機械工学科は、ハードウェアの設計・製作に関する知識だけでなく、エレクトロニクスやコンピュータの応用も取り入れたカリキュラムによって、新しい技術開発の社会的 requirementに対応できる資質を有し、物を創り出すことに意欲的な機械技術者の育成を目指しています。

●電気電子工学科●

電気電子工学科は、電気電子基礎をはじめ電力・電機・制御・情報・通信・材料・計測など、現代の電気電子工学の全領域を網羅した総合工学科として発展しています。2年からの実験実習では少人数教育を重視し、各学年で「ものづくり実習」を実施しています。低学年から情報処理教育を取り入れ、高学年では技術の進展に合わせた高度な授業の中から学生の希望する科目を選択できるようにし、深い人間性と豊かな創造力、高い洞察力を育む教育を実践しています。

●電子制御工学科●

現代社会においては、家庭電化製品から航空宇宙機器、さらには工場や社会システムまで、計算機により制御されており、電子制御技術はあらゆる分野に普及しています。電子制御工学科では、計算機工学と制御工学を核とし、電子工学、機械工学などを統合した電子制御工学を学び、計算機制御を中心とした次世代の科学技術を担う創造性豊かな技術者の育成を目的としています。本学科で行われる研究も、知能ロボット、光デバイス材料、アンテナ、通信制御、計測制御、振動制御、電子回路解析、材料強度、自然エネルギーの利用など多岐にわたっています。

●情報工学科●

情報工学科では、情報を処理して新しい情報を創造する計算機システム、情報を遠方に伝送する通信システム、情報を用いて機械を制御する制御システムなどの情報システムの構築及び利用に関する専門的知識や技術を修得することを目的としています。すなわち、計算機工学、ソフトウェア工学、通信工学などの基礎的な分野を修得するとともに、ネットワーク、人工知能、画像処理などの計算機応用工学を学びます。情報工学科は、情報化社会が必要としているハードウェアとソフトウェアの両方に習熟し、工業技術分野に限らず広い分野において活躍できるコンピュータ技術者の育成を目指しています。

●環境都市工学科●

環境都市工学は従来の土木工学を基本とし、これに都市に関連した問題や環境との調和の問題を取り入れた分野です。土木工学は、橋、道路、公園など産業の発展や、市民生活の基本となる公共施設の充実に貢献してきましたが、経済の高度な発展に伴い、都市や環境の問題がクローズアップされてきました。そこで本学科では公共施設の設計や建設にあたり、安全性や景観・環境の維持などの幅広い視点を持った技術者の育成を目標にしています。

専攻科の紹介

●機械・電子システム工学専攻●

本科の機械工学科と電気電子工学科において修得した基礎知識をベースとして、機械及び電気電子それぞれの分野に高い技術及び実践力を有する高度な技術者及び両専門分野を融合した柔軟性のある研究・技術開発能力を兼ね備えた先端技術に対応できる中核的・指導的技術者育成をめざしています。

●制御・情報システム工学専攻●

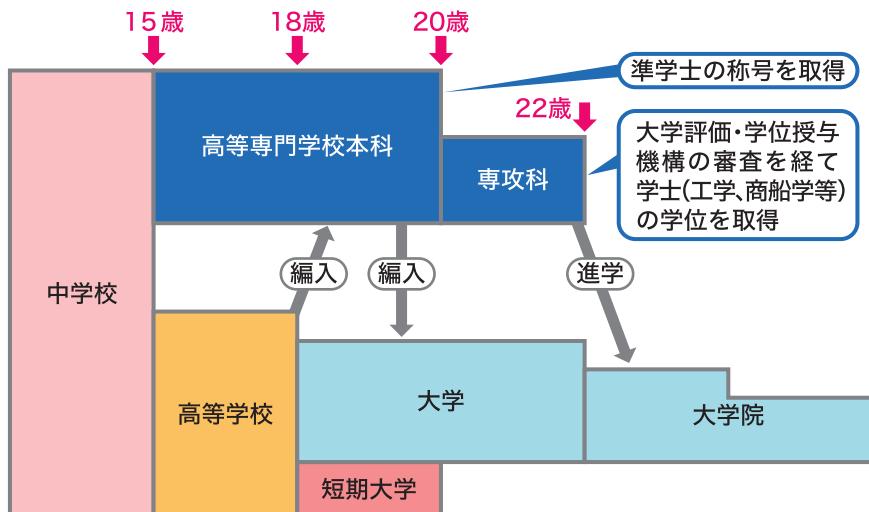
情報処理技術を基礎として、意思決定技術、ソフトウェア技術、通信技術、制御技術及びメカトロニクス技術に係わる教育指導を行い、創造的、実践的な制御システムに対応できる中核的・指導的技術者育成をめざしています。

●環境建設工学専攻●

社会的に深刻となっている環境や都市などの高度で広域化した問題に柔軟に対応できる思考力と創造力を併せ持つ技術者を育成するとともに、これらの問題に対応した研究開発ができる中核的・指導的技術者育成をめざしています。

高等専門学校制度の概要

本校を含む国立高等専門学校(高専)51校は、国立高等専門学校機構(高専機構)により設置・運営されています。高専とは、大学の教育システムとは異なり、社会が必要とする技術者を養成するため、中学校の卒業生を受け入れ、本科で5年間の一貫教育を行う高等教育機関です。



- 本科は15歳からの5年間の一貫教育
- 専攻科でのより高度な2年間の教育
- 一般科目・専門科目を体系化したカリキュラム
- 実験・実習を重視した専門教育
- 地域の産業界と連携したインターンシップ
- 高度な資質と多様な背景を持った教員
- 学生寮・課外活動を通した全人教育
- ロボコン、プロコン等の着想と技術を競う全国大会
- 多様なキャリアパス



交通案内

木更津駅からバスで15分(清見台団地行き西口2番・東口6番) → 高専前下車 徒歩2分

【木更津駅までのアクセス】

JRの場合

東京駅からJR京葉線・内房線
特急で53分
快速で80分

高速バスの場合

東京駅から64分
羽田空港から37分
横浜駅から55分

車の場合

館山自動車道
木更津北 IC から10分

独立行政法人国立高等専門学校機構 木更津工業高等専門学校

〒292-0041 千葉県木更津市清見台東2-11-1

電話:0438(30)4000(代表) FAX:0438(98)5717

ホームページ <http://www.kisarazu.ac.jp/>